

# 友愛読書会

毎月第1土曜日午後1時30分から1時間  
今月から、賀川豊彦著「一粒の麦」を読んで  
いきます。コピーを用意していますのでご  
参加ください。



「もし地に落ちて死なば多くの実を結ぶ可」 賀川豊彦の自筆の額が事務所の中に展示されています。今回「一粒の麦」を読書するにあたり、一冊の「一粒の麦は死すとも一賀川豊彦一」という薄井 清著がありましたので、コピーしておきます。

それと、『太宰治は「人間失格」ですが、賀川豊彦は「一粒の麦」で「人間及格」を文学にした作家であるといえるでしょう。』と解説者の武藤富男さんは書かれています。

ぜひその文学をみなさんと楽しみながら読んでいきましょう。